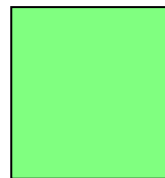
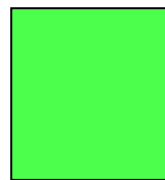
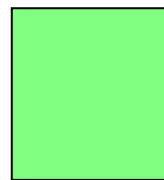


(様式：13-01)



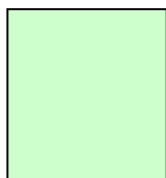
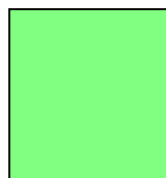
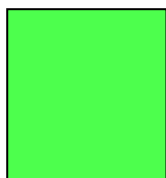
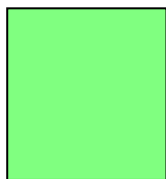
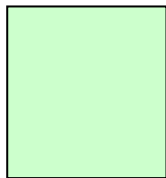
紺藤織物 株式会社

2014 年度 環境活動レポート

【 2013 年 9 月～2014 年 8 月号】

作成日 : 2014 年 11 月 25 日

改定日 : 2015 年 3 月 3 日



ご 挨拶

紺藤織物株式会社は事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献していきます。私たちは、法令を遵守することはもとより、多様化するステークホルダーの期待や要望に応えるために、積極的なコミュニケーションを図り、私たちに何ができるかを、常に考え、社会的責任を果たす活動を自主的、かつ積極的に推進していきます。

当社の環境活動においては、「母なる湖」琵琶湖を世代を超えて共有すべき財産として守り伝えていくため、湖と企業活動の共生をめざし、エコアクション 21 活動を柱に、一層の環境負荷低減に努め、自然と人類の共存を図る取り組みを行っていきます。

紺藤織物株式会社

代表取締役社長 山 川 藤 治



環 境 方 針

当社の産業資材用織物及び燃糸コードの設計・開発、製造及び販売活動の中で、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、エアクション 21 環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - (1) 脱地球温暖化社会のための省エネルギーとして、電気使用量を削減します。
 - (2) 循環型社会のため 単純焼却の廃棄物を削減します。
 - (3) 省資源のためロスを低減します。
 - (4) 水資源の節約として 上水を削減します。
 - (5) 作業環境を全員参加の 5 S 改善活動で進めます。
 - (6) 化学物質の適切管理の推進
 - (7) 事務用品及び消耗品のグリーン購入を進めます。
 - (8) 納品時に使用する梱包資材をリユース出来るものに切り替えを促進します。
 - (9) 事業所周辺の水辺の環境や生き物の保全活動を行います。
4. 全従業員にこの環境方針を周知します。

最新改定日：2010 年 8 月 27 日

制 定 日：2006 年 8 月 19 日

滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地

紺 藤 織 物 株 式 会 社

代表取締役社長 山 川 藤 治

I. 事業者活動の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
事業者名 紺藤織物株式会社
代表取締役社長 山川 藤治
- (2) 所在地
滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地
- (3) 環境保全関係の責任者及び推進者連絡先
責任者 総務管理部長 : 中村 宏幸 TEL : 0740-25-3431
担当者 技術部長 : 福田 藤博 TEL : 0740-25-3431
- (4) 事業内容
産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売
- (5) 事業の規模
主要製品生産量 3,313ton/年 (2014 年度実績)
従業員 80 名 (平成 26 年 8 月末日)
工場延べ床面積 12,632 m²
- (6) 事業年度 9 月 1 日~8 月 31 日

II. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 紺藤織物株式会社 (全組織・全活動対象)
活動 : 産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売



Ⅲ. 3年間の事業の規模と負荷の取りまとめ

事業規模

活動規模	単位	2012年	2013年	2014年
生産重量	t	3,262	3,160	3,313
売上高	百万円	1,204	1,169	1,181
従業員	人	81	80	80
床面積	m ²	12,632	12,632	12,632

環境への負荷の状況

		単位	2012年	2013年	2014年	特定した 環境負荷
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	27,962,467	26,342,365	25,882,714	○
	購入電力	kwh	2,844,605	2,679,793	2,633,033	○
	化石燃料	MJ	1,394,908	1,317,915	1,156,840	
② 総物質投入量	資源投入量	t	3,396.3	3,290.5	3,416.7	
	循環資源投入量	t	1.4	3.6	4.1	
③ 水資源投入量	上水	m ³	527	641	576	○
	地下水	m ³	801,500	800,400	812,000	
④ 温室効果ガス排出量	【二酸化炭素】	Kg-CO ₂	1,136,249	923,211	897,839	
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t	0.62	0.48	0.33	
⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t	3,262	3,160	3,313	
	容器包装使用量	t	6.6	7.7	7.5	
⑦ 廃棄物等総排出量	再生利用	t	100.9	111.4	95.9	
	単純焼却	t	10.2	9.7	10.2	○
⑧ 総排水量	公共用水域	m ³	801,225	800,061	811,361	
	下水道	m ³	802	980	1215	

IV. 環境目標とその実績

今期（2014 年度（‘13/9～’ 14/8））より、新たな中期環境目標を設定し、エコアクション 21 の運用を始めました。新中期環境目標の基準年度は 2011 年度（‘10/9～’ 11/8）としています。

項目	年度	2011年度(基準年度)	2013年度	2014年度		2015年度
		(‘10/9～’ 11/8)	(‘12/9～’ 13/8)	(‘13/9～’ 14/8)		(‘14/9～’ 15/8)
		実績	実績	目標	実績	目標
購入電力に起因する二酸化炭素排出量の仕掛長さ当たり (kg-Co2/km)		95.53	95.17	94.57	94.31	94.10
単焼却廃棄物に起因する二酸化炭素排出量の仕掛長さ当たり (kg-Co2/km)		2.80	2.96	2.77	3.12	2.74
上水量 (m ³ /年)		520.0	640.5	514.8	576.0	512.2
5S改善活動 (点/年以上)		47.0	50.5	51.0	50.4	52.0
ロス率の低減 (%)		5.56	6.18	5.65	6.15	5.70
化学物質の適正管理 (AK-35 (PRTR 法非該当)) 使用量計測		12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測	12回/年 計測実施済	12回/年 計測
事務用品・消耗品のグリーン購入アイテム比率 (%)		50.0	48.4	55.0	54.7	56.0
燃送り品の段ボール梱包削減段ボール比率 (%)		66.5	66.5	59.2	58.0	58.5
環境保全活動への参加		お魚ふやし隊参加等	お魚ふやし隊ほか	種々の活動への参加	お魚ふやし隊ほか	種々の活動への参加

【補足説明】

1. 新中期環境目標（2013 年度－2015 年度）に使用する原単位は、製品（織物）長さ（km）としています。
2. 購入電力に起因する二酸化炭素排出量の排出係数は平成 22 年度関西電力実排出係数 0.311kg-Co2/kmを使用しています。2015 年度以降は、購入電力会社先の見直しを検討しており、2015 年度には、二酸化炭素排出量の排出係数の変更を行います。
3. 水資源は、計測上の問題から上水のみを目標としています。地下水は平成 26 年 7 月 14 日に水質分析を実施し、第 3 者機関より水質汚濁環境基準に合致している証明を頂いております。
4. 5S改善活動は、2012 年 9 月度より一部評価基準の改定を行い、活動・評価していきます。
5. 化学物質の管理において、当社では PRTR 法に基づく物質を一切使用しておらず、検査時に使用する有機溶剤（汚れ落とし）の AK-35 の適正管理に努めます。
6. 生物多様性に関する取組みは、当地域で開催される環境保全活動に積極的に参加することを目標とします。

V. 2014年度 環境活動の具体的な取り組みと評価

取り組み	結果
<p>1. 電気量の削減・・・製品(反物)長さ対比</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 製造部全体の稼働率UP (2) 織機、送風機等のVベルトの切り替え (3) コンプレッサーの適正運用 (4) 冷暖房のメンテナンス強化 (5) 夏場の工場の遮断・断熱工事を実施※ <p>※詳しくは、下記のトピックスをご覧ください</p>	<p>【評価結果 ○】</p> <p>目標値 : 94.57kg・CO₂/km 以下 実績値 : 94.31 kg・CO₂/km 達成率 : 100.8%</p> <p>6月に一部工場で未施工であった屋根遮熱塗装工事を実施。昨年度実施したLED化、省エネエアコン更新の効果が現れた。製造設備増強したが通期で目標を達成できた。</p>
<p>2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・製品(反物)長さ対比</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リユース、リサイクルへの分別を徹底する (2) プラダン敷板の活用、廃段ボール、仮包装用テープ、ppバンドの削減 	<p>【評価結果 ×】</p> <p>目標値 : 2.77 kg-Co2/km 以下 実績値 : 3.12 kg-Co2/km 達成率 : 88.8%</p> <p>部署単位では、大半は削減できているものの、一部部署において排出量が大幅に増加した。特定した部署に対策を講じていく。</p>
<p>3. 上水量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 使用実績を掲示 (2) 節水啓蒙シートを掲示 	<p>【評価結果 ×】</p> <p>目標値 : 514.8m³/年 以下 実績値 : 576.0m³/年 達成率 : 89.2%</p> <p>冬場(12月~3月)の使用量が例年通り多くなっているにもかかわらず、効果的な対策が取れていなかった。今後対策が必要である。</p>
<p>4. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5Sチェックリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 3ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進(毎月の全社会議で成果発表)。 (2) 改善提案提出1件以上/3ヶ月/人の励行 	<p>【評価結果 △】</p> <p>目標値 : 51点以上 実績値 : 50.4点 達成率 : 98.8%</p> <p>改善活動がマンネリ化されつつあり、提案件数が減少した。課別改善においては、リスクアセスメントを中心に活発化させた。</p>
<p>5. ロス率の低減・・・仕掛総計(生産量)対比</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ビーム巻反数の改善 (2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する) 	<p>【評価結果 ×】</p> <p>目標値 : 5.65%以下 実績値 : 6.15% 達成率 : 91.9%</p> <p>他社からの移管品の試作品が、大幅に増加したことが主因。下半期からは移管品の正規化され、標準化されるところにより低減が進んできている。</p>

取組み	結 果
<p>6. 事務用品および消耗品のグリーン購入アイテム数向上 (1) 既存品のグリーン購入化出来るものを検討 (2) グリーン購入品の調査</p>	<p>【 評価結果 △ 】 目標値 : 55%以上 実績値 : 54.7% 達成率 : 99.5% ほぼ目標が達成できた。配慮型商品購入アイテムの把握が進んできたことと、販売業者からの情報提供が進んだ。</p>
<p>7. 燃り送り製品の段ボール梱包の削減…生産量対比 (段ボール使用比率) (1) 梱包用箱をプラダン箱の使用の推進 (回転効率化) (2) 既存使用ユーザー以外との使用交渉</p>	<p>【 評価結果 ○ 】 目標値 : 11%以下 実績値 : 11.22% 達成率 : 102% ユーザーからの通い箱の効率上がった。また、新規ユーザーで、使用済み段ボールをリユースすることが認められたことにより購入量が抑えられた。</p>
<p>8. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加 ※詳しくは、下記のトピックスをご覧ください</p>	<p>目標設定なし 若手社員教育の一環として「お魚ふやし隊」に参加した。 毎月の近隣の清掃活動や琵琶湖清掃活動にも参加した。</p>

今期の取組みトピックス

◆全工場の屋根に断熱塗装を完了

昨年に引き続き、工場の屋根遮熱・断熱塗装工事を行いました。(工期：平成26年6月)特殊セラミック塗膜仕様により、屋根からの侵入熱を大幅にカットし、工場内の温度低下効果がありました。冬場には保温効果も大きく、暖房に使用する電力および灯油の使用量削減に寄与しています。



◆生物多様性に関する活動「お魚ふやし隊」

若手社員や社員家族の環境教育の一環として、琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催の「お魚ふやし隊（自然かんさつ会）」（2014年6月8日開催）の活動に22名で参加しました。当社から数分のところにある水田付近で、水辺の生物の観察を行いました。私たちが採取した生き物の中には、希少種のドジョウや貝などが含まれていて、自然保護の大切さや必要性を肌で感じる場面となりました。

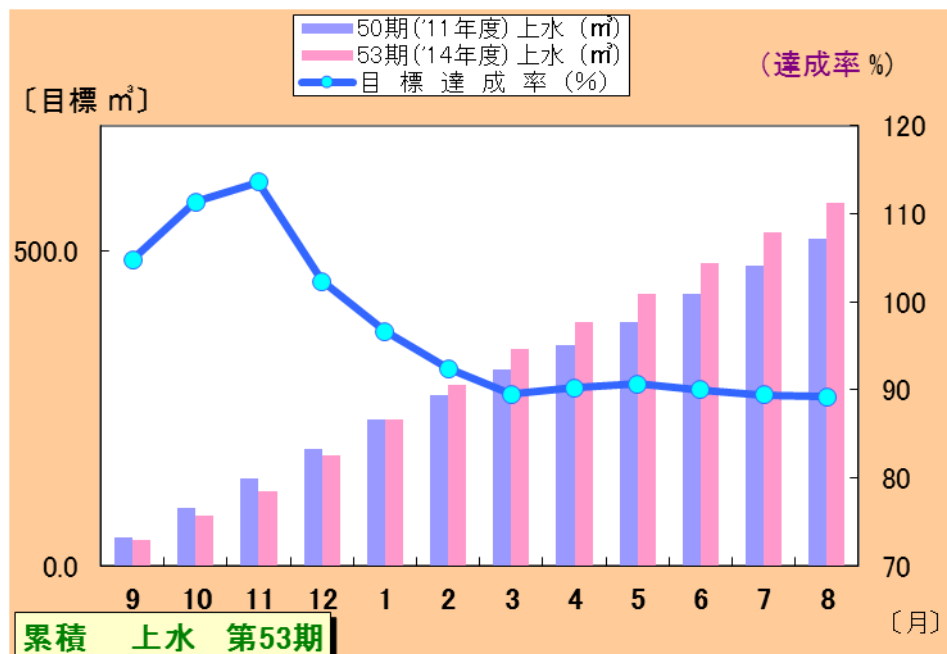
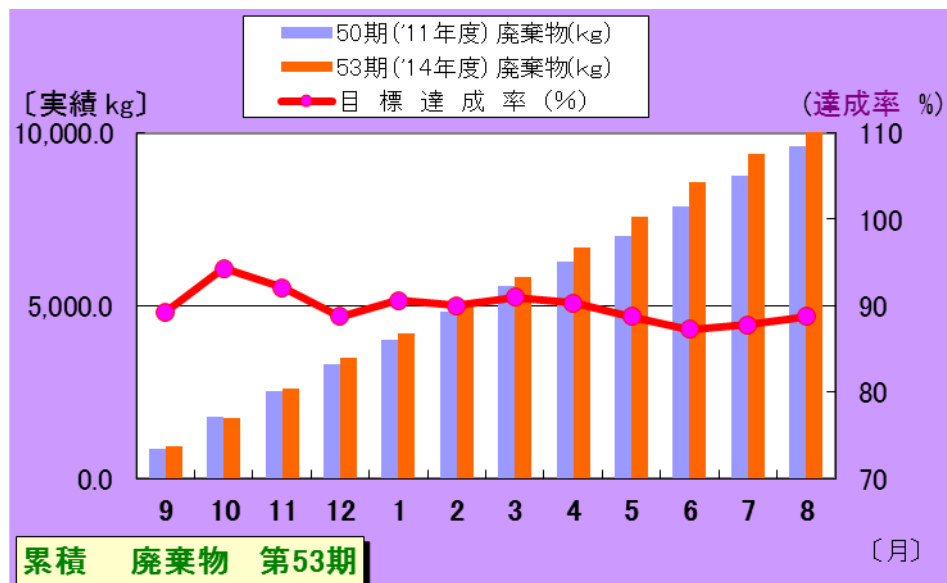
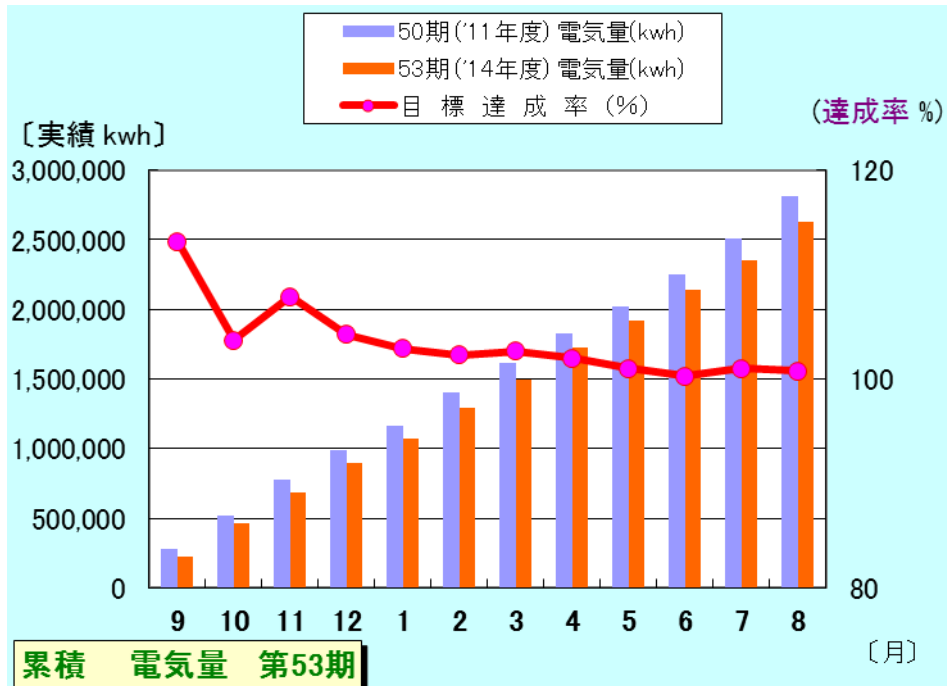


◆Panasonic リニューアルフォーラム 2014 にて、「金賞受賞物件」として選ばれる

Panasonic リニューアルコンテスト 2013 において、当社の第3課工場および第5課工場の省エネ設備への更新が金賞受賞物件となり、フォーラムにおいて事例発表が行われました。また、『電材NEWS』に当社が紹介、掲載されました。

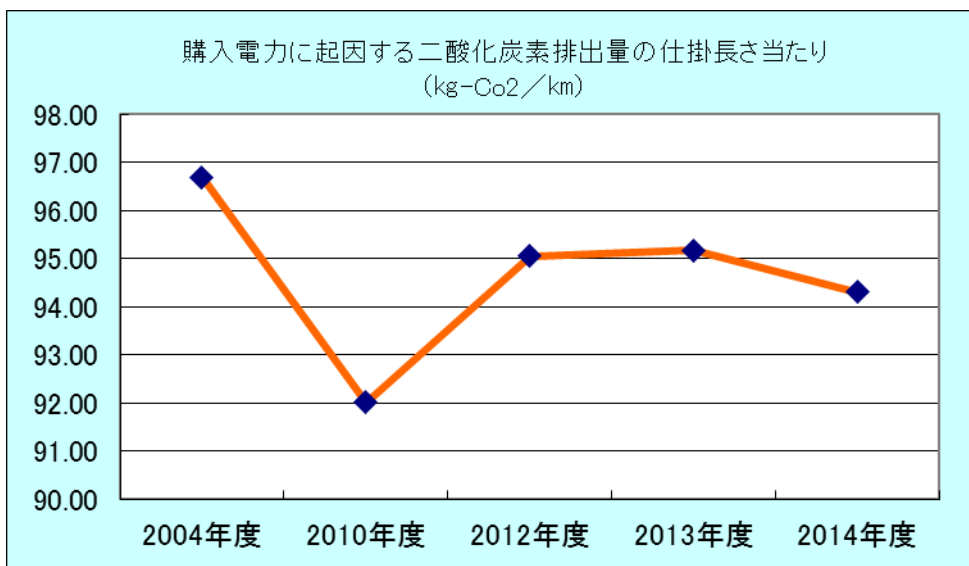


◆今期 実績グラフ

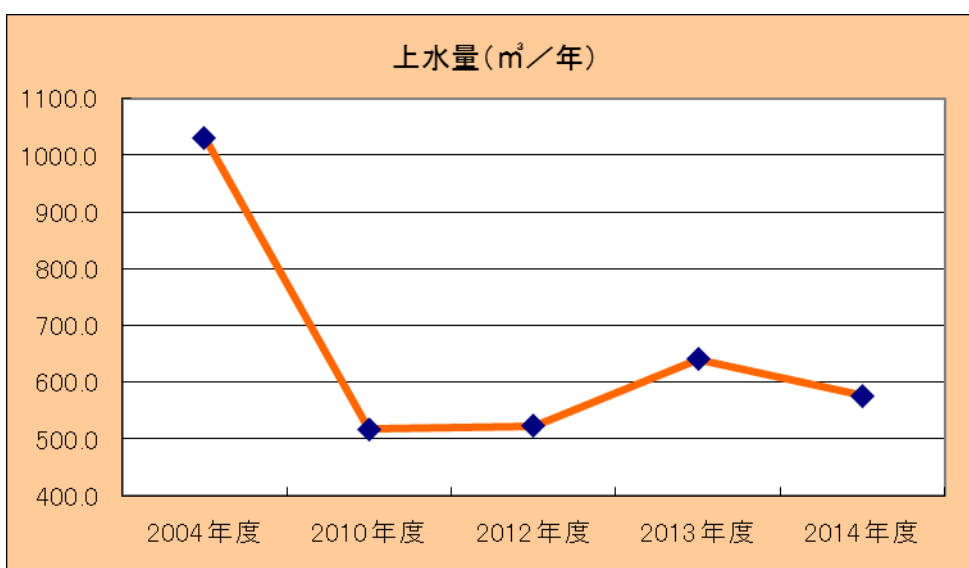
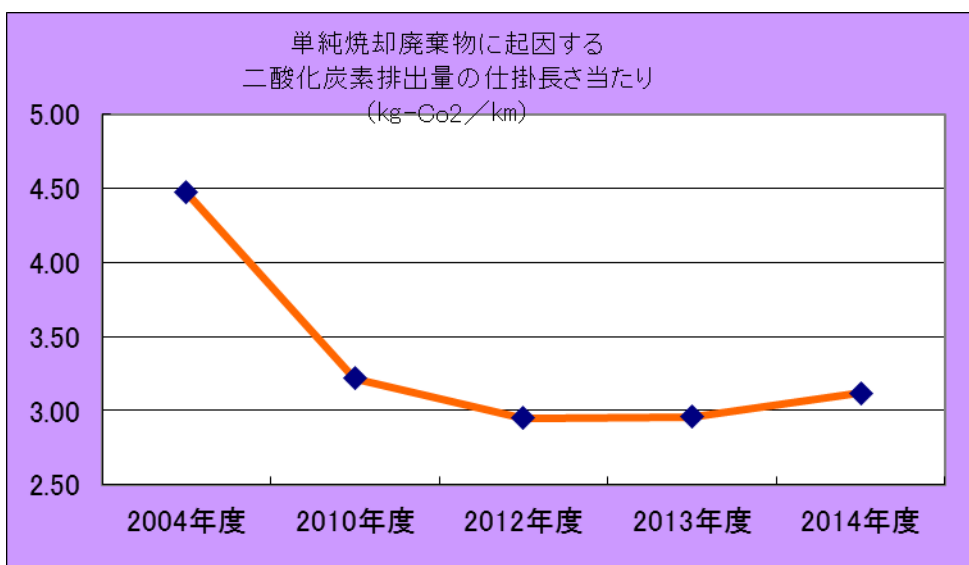


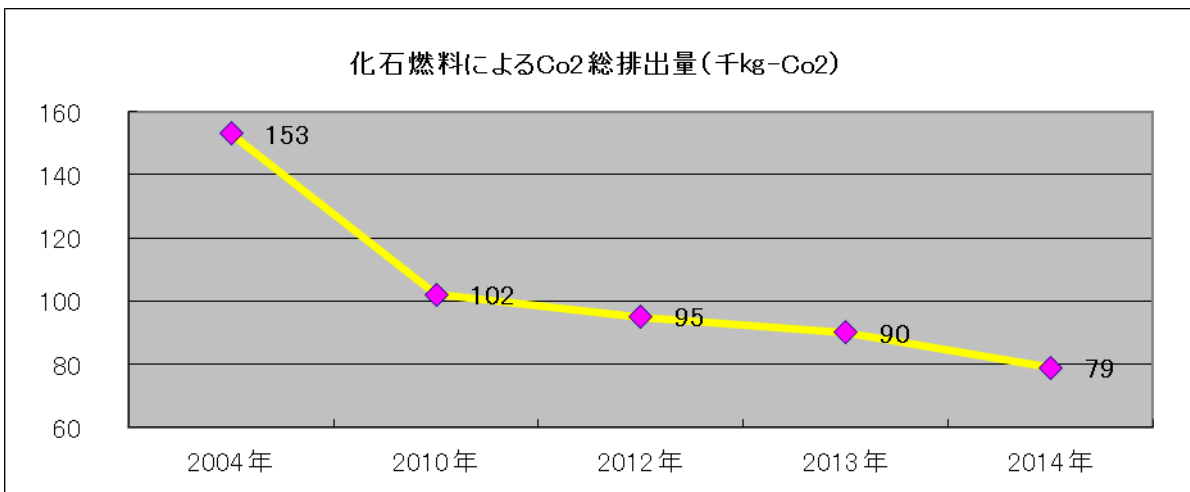
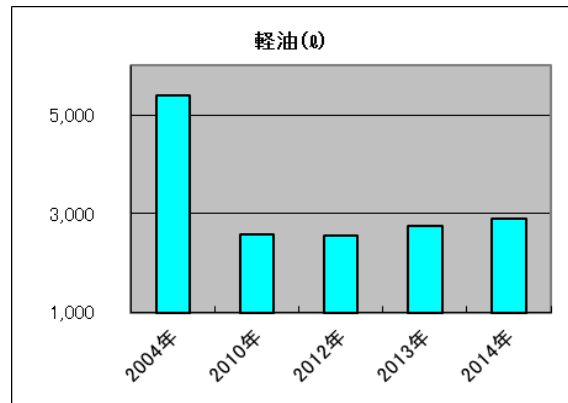
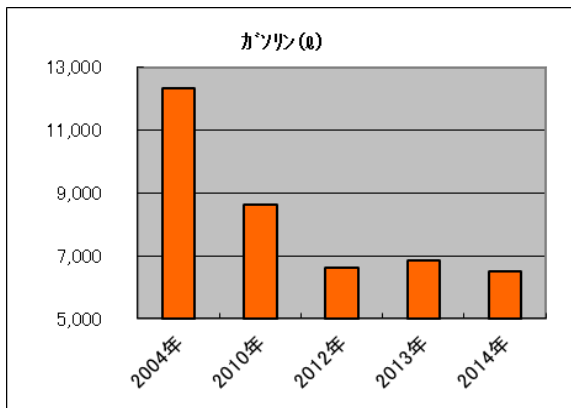
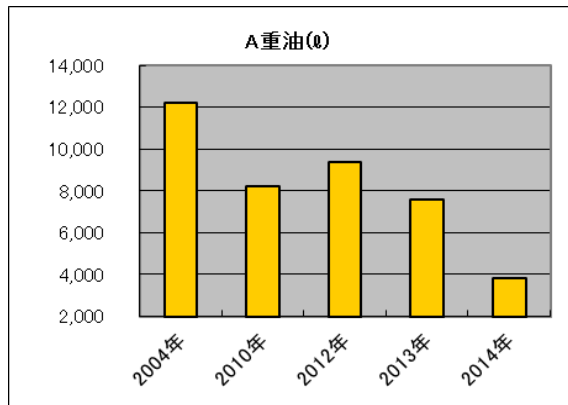
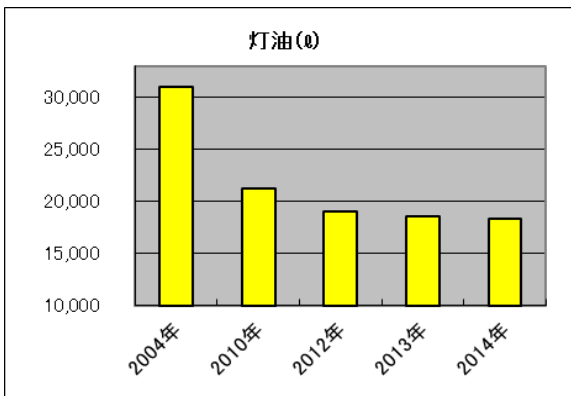
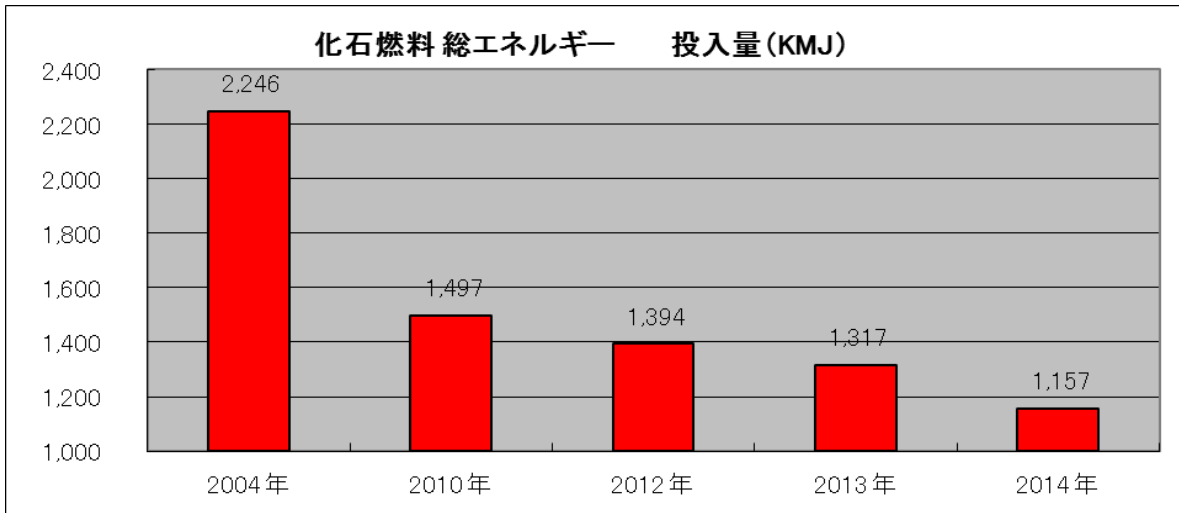
◆EA21 活動数値推移表（抜粋）

※2004年度は、当社のEA21活動をスタートさせた2007年度の基準年度にあたります。



※排出係数は、平成22年度関西電力実排出係数0.311kg-Co₂/kmを使用しています。





VI. 2015年度 環境活動の取り組み計画

取り組み計画	目標値
<p>1. 電気量の削減・・・製品(反物)長さ対比</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 製造部全体の稼働率UP (2) 織機、送風機等のVベルトの切り替え (3) コンプレッサーの適正運用 (4) 工場の空調設備の見直し (5) 冷暖房のメンテナンス強化 	<p>目標値 : 94.10kg・CO₂/km 以下</p>
<p>2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・製品(反物)長さ対比</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リユース、リサイクルへの分別を徹底する (2) プラダン敷板の活用、廃段ボール、仮包装用テープ、ppバンドの削減をする 	<p>目標値 : 2.72 kg-Co2/km 以下</p>
<p>3. 上水量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 使用実績を掲示する (2) 節水啓蒙シートを掲示する 	<p>目標値 : 512.2m³/年 以下</p>
<p>4. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5Sチェックリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進(毎月の全社会議で成果発表)。 (2) 改善提案提出1件以上/4ヶ月/人の励行 	<p>目標値 : 52点以上</p>
<p>5. ロス率の低減・・・仕掛総計(生産量)対比</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ビーム巻反数の改善 (2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する) 	<p>目標値 : 5.7%以下</p>
<p>6. 化学物質の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) AK-35 (PRTR 法非該当) の適正管理 	<p>設定なし</p>
<p>7. 事務用品および消耗品のグリーン購入アイテム数向上</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 既存品のグリーン購入化出来るものを検討 (2) グリーン購入品の調査 	<p>目標値 : 56.0%以上</p>
<p>8. 燃り送り製品の段ボール梱包の削減・・・生産量対比</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 梱包用箱をプラダン箱の使用の推進(回転効率化) (2) 既存使用ユーザー以外との使用交渉 	<p>目標値 : 58.5%以上削減</p>
<p>9. 地域環境保全活動への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加 	<p>設定なし</p>

Ⅶ. 環境関連法規制の順守状況

1. 当社に適用される主な法規制等と現在までの順守状況

法律及び法令の略称	当社に適用される要求事項	順守状況
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃 に関する法律)	一般廃棄物・産業廃棄物の保管および運搬	適
	産業廃棄物の運搬・処理の委託	適
	産業廃棄物管理票の運用、交付等の報告	適
騒音規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
振動規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
消防法 ・高島市火災予防条例	一定規模以上の事業所に対する規程	適
	第4類危険物の指定数量	適
	指定可燃物の届出	適
	消防用設備等点検結果報告書	適

2. 環境関連法規について

当社の環境関連法規の重大違反はありません。関連当局の違反等の指摘及び住民より苦情も、過去3年間ありません。今後も最新法令を確認しこれを順守します。

Ⅷ. 2014年度代表者による見直し

第3次中期環境計画の2年目の今期は、前期に実施した屋根への遮熱・断熱塗装、工場全体のLED化、空調機器の更新などの環境投資の成果が十分に発揮された年となりました。

今期は、生産量を維持・向上させながら、電気量・化石燃料の削減が進み、温室効果ガス排出量の削減が一層進む結果となり、合わせて経営的課題でもあるエネルギーコストの抑制にも寄与しました。

その他の活動においても、従業員ひとりひとりの創意工夫によりEA21活動は継続的に行われ、今期も環境負荷の低減が進みました。

EA21認証取得してから7年が経ち、当社にとって『EA21活動』自体が経営資源になってきていると感じる期となりました。

これらは、従業員ひとりひとりの努力の積み重ねであり、感謝申し上げる次第です。

上記を踏まえ、環境経営システムは有効に機能し問題なく継続展開をしていきます。



準備OK



みて！ みて！



あつまれ
お魚ふやし隊



スジシマドジョウやあ〜



にかがしてやろ〜



かんさつしたいなあー



おーっと、何がいった？



けっこー きれいやなあ



琵琶湖一斉清掃IN今津浜

